

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

2023- YZF-R125 (8BJ-RE45J)  
POWERBOX FULL  
取付説明書



<取付所要時間の目安>  
約 40分

〈 商品内容 〉

・ POWERBOX マフラー(一体構造) ×1

- ※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
- ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
- ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。取り付け後の排気漏れを防ぐ為にも車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。
- ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
- ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

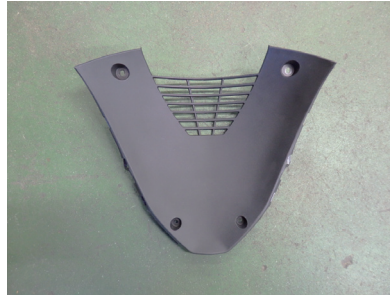


排気ガスセンサーを取り外した状態でメインスイッチを ON にしますと、センサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。排気ガスセンサーを固定してマフラー交換作業が完全に終了するまでメインスイッチは絶対に ON にしないで下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には車種ご購入先のバイクショップに相談して下さい。

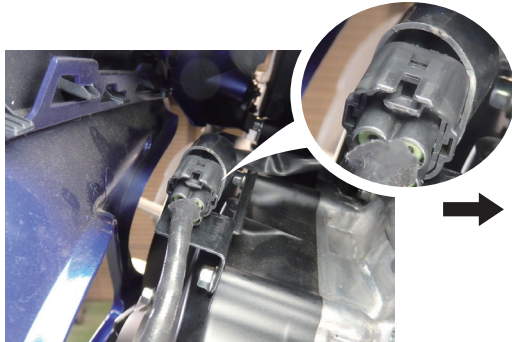
① 純正マフラーを取り外します。



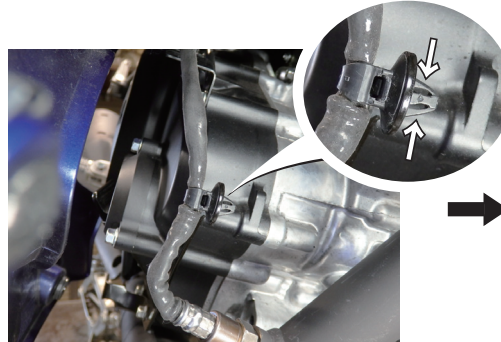
アンダーカウル前方の黒いパネルを取り外します。  
タッピングビス(前方から4点)、プッシュリベット(下方から2点)で固定されています。



この後の作業をやり易くする為に  
右側アンダーカウルの固定箇所1点を取り外しておきます。



排気ガスセンサーの配線カプラーを取り外します。  
細いマイナスドライバーで爪を下から押し上げながら抜き取ります。



排気ガスセンサーの配線を固定している  
クリップも取り外します。



排気ガスセンサー本体を取り外します。  
(あとで POWERBOX マフラーに  
取り付けます。)



サイレンサー上部の固定箇所を緩め、ナットを取り外します。  
ボルトは完全に抜き取らないままに進みます。  
(マフラーが自重で落下するのを防ぐ為)  
この固定部のボルト / ワッシャ / ナットはあとで再使用します。



エンジン側固定部のフランジナット2点を取り外し、  
マフラー一式をゆっくりと車体から取り外します。  
(ナットはあとで再使用します。)



排気ポートのエキゾーストガスケットを  
新品に交換します。(車種専用サイズのもの  
を別途お買い求め下さい。)

エキゾーストガスケット  
YAMAHA純正パーツ品番: BK7-E4613-00

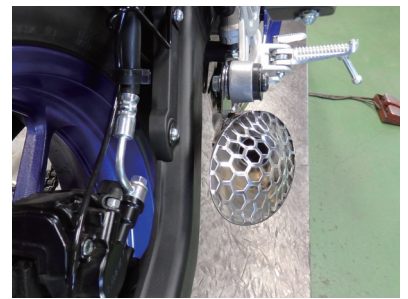
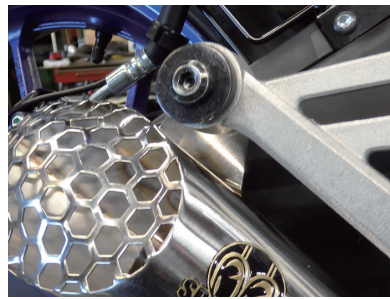
② POWERBOXマフラーを仮組みします。



純正マフラーから取り外した排気ガスセンサーを  
POWERBOXマフラーに取り付けます。  
この時点でセンサーは本締め固定しておきます。

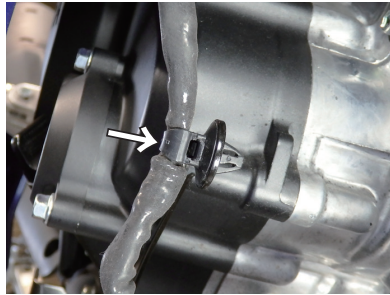
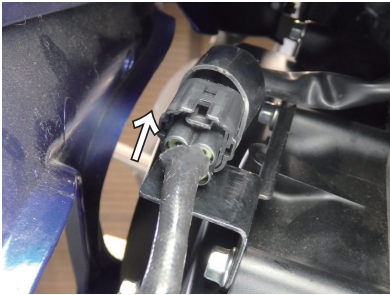


(後ろ側・サイレンサー上部の固定位置も合わせながら)  
POWERBOXマフラーをエンジンに仮組みします。  
固定には純正のフランジナットを再使用します。



サイレンサー上部の固定箇所を仮止めします。固定には純正のボルト / ワッシャ / ナットを再使用します。

車体各部との隙間を確認します。  
特に転倒歴のある車輛などはスイングアームとの隙間をよく確認して下さい。



純正マフラー装着時と同じ様に排気ガスセンサーの配線カプラーをしっかりと結合させて、クリップをステー穴に固定します。

配線に不自然なねじれなどのストレスがかからない様に取り回しを整えます。

### ③ 各部の隙間や取付状態をよく確認し、仮組みしていた箇所全てを本締めします。

本締め後、あらためてPOWERBOXマフラー各部と車体が干渉している箇所がないかよく確認して下さい。

### ④ 作業中にマフラーに付いた汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと取り除きます。

汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

### ⑤ エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題のない事を確認します。

### ⑥ 外装を元に戻し、あらためてPOWERBOXマフラーと干渉していない事を確認して作業終了です。



※ 安全にご使用いただく為にも取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。

※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、臭いや排気出口から白煙が発生する場合がありますが、徐々に収まっていきます。

※ 製品によっては、サイレンサーやマフラー本体に小さな穴を空けている事がありますが、これは水抜き用に設けられた穴ですので、特に問題はございません。

※ 本製品は構造上使用状況によってアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。

※ 本製品はステンレス素材を使用しております。ステンレスはその特性上熱によって焼け色が付いてきますが、異常ではありませんのでご安心下さい。  
(ご使用状況によりましては均一ではなくまだら模様に焼け色が付く事があります。)

また、この焼け色を落とすには弊社より発売中の『ホロクリンジエル SP』をお使いいただきますと非常に効果的に焼け色を落とす事ができます。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。